

平成28年度
佐賀大学
学生募集要項

—帰国子女特別入試—



学部（学科）	理工学部 農学部	医学部（医学科）
願書受付期間	平成27年11月2日(月)～11月9日(月)	
試験日	平成27年11月27日(金)	平成28年2月25日(木) ・2月26日(金)
合格者発表日	平成27年12月7日(月)	平成28年3月6日(日)
入学手続期間	平成28年 1月18日(月) ～1月21日(木)	平成28年 3月10日(木) ～3月15日(火)

佐賀大学

☎ 0952 - 28 - 8178

ホームページ

<http://www.saga-u.ac.jp/>

e-mail

contact@mail.admin.saga-u.ac.jp

目次

I	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
II	帰国子女特別入試	
1	実施する学部，学科，募集人員	18
2	出願資格	18
3	出願方法及び出願期間	19
4	出願に必要な書類等	20
5	入試方法	22
6	試験日時，学力検査等及び試験場	23
7	事前相談を要するみなさんへ	23
8	合格者の発表	24
9	入学手続	24
10	不合格者の取扱い	25
11	注意事項	25
12	受験にあたっての主な注意事項	26
13	入学志願票等の記入上の注意及び記入例	27
14	請求により本人に開示される個人情報	30
15	個人情報の取扱いについて	30
III	共通事項「佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内」	31
IV	添付書類	
●	検定料振込依頼書	
●	検定料振込証明台紙	
●	入学志願票（帰国子女特別入試）	
●	写真票（帰国子女特別入試）	
●	受験票（帰国子女特別入試）	
●	帰国子女特別入試志願者身上記録書	
●	帰国子女特別入試用住所届	
●	志願票等在中封筒表紙	

佐賀大学帰国子女特別入試への出願について

佐賀大学帰国子女特別入試への出願は、佐賀大学入試課のホームページからダウンロードした出願書類を市販の用紙に印刷して提出する方法を採用しております。

A4 サイズの印刷が可能なプリンタ等がない方、ファイルがうまく表示されない方は、佐賀大学入試課に資料請求をしてください。

●出願に際して

- 本学ホームページから必要なファイルをダウンロードしてください。
出願書類については、本要項記載の「4 出願に必要な書類等」でご確認ください。
- 検定料は振込依頼書を印刷し、銀行で振り込み手続きを行ってください。
- 海外から出願する場合は、余裕をもって出願してください。

I 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

佐賀大学の求める入学者

佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。

佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。

佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。

医 学 部

【1】 求める学生像

医学部は、教育・研究・診療の三つの使命を一体として推進することによって、社会の要請に応えうる良い医療人を育成し、もって医学・看護学の発展並びに地域包括医療の向上に寄与することを基本理念とします。各学科の目的と求める学生像は以下の通りです。

■医学科

医の実践において、強い生命倫理観に基づくとともに広い社会的視野の下に包括的に問題をとらえ、その解決を科学的・創造的に行うような医師を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 医学への志を持ち、医学・医療により社会に貢献したいと考える人
- ② 他者への思いやりを持ち、コミュニケーションを取ることができる人
- ③ 学習と医療の研鑽を努力・持続するための忍耐強さを持つ人
- ④ 医学を学ぶために必要な基礎的学力・能力を備えている人
- ⑤ 生涯を通して、医学・医療について勉学する意欲のある人

〔医学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

医学は、生命科学を中心に自然科学のあらゆる分野が密接に関連しているとともに、人間を対象とする人文・社会科学的要素が深く関わっています。そのため、高等学校で履修すべき科目を偏ることなく、幅広く習得しておくことが必要です。特に、生物・化学・物理・数学の基本的事項を充分理解し、それに基づく論理的な思考ができるようにしておく必要があります。さらに、大学の学習で用いる参考書等の理解、レポートの作成、グループ討論や発表に必要な国語力、英語力およびコミュニケーション能力を獲得していることも重要です。また、医学への志を確かなものにするために、医学・医療をとりまく社会に目を向け、読書やボランティア活動、医療関連先輩との交流などの取り組みを通じて、自らキャリアデザインを考える積極的な姿勢が望まれます。

【2】 入学者選抜の基本方針

医学部の教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学希望者を選考します。

【前期日程】

大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験と調査書によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力、科学的あるいは論理的思考力および問題解決能力、明確な志望動機や入学後の意欲等、医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、個別試験において、学力検査（医学科）、小論文（看護学科）、面接試験および調査書によって評価します。

【後期日程】

大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験と調査書によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、個別試験において、調査書、自己推薦書および面接試験によって評価します。

特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質および経験を有し、そして本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」（看護学科）、「推薦入試Ⅱ」（医学科）、「佐賀県推薦入学」（医学科）、「帰国子女」（医学科）、「社会人」（看護学科）の5つの入試区分により、入学希望者を選考します。なお、「推薦入試Ⅱ（佐賀県枠）」と「佐賀県推薦入学」については、将来、佐賀県内の医療活動に、また「推薦入試Ⅱ（長崎県枠）」については、将来、長崎県内の医療活動に貢献したいという強い意志を持つ者を対象とします。

【推薦入試Ⅱ】（医学科）

出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験と調査書によって高等学校までの学習到達度を評価すると同時に、小論文によって、科学的あるいは論理的思考力および問題解決能力について評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【佐賀県推薦入学】（医学科）

出願要件を満たし、佐賀県から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって高等学校までの学習到達度を評価すると同時に、小論文によって、科学的あるいは論理的思考力および問題解決能力について評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【帰国子女】（医学科）

出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、学力検査と書類審査によって評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

医学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	評価方法		入試方法
<p>知識・理解・思考・判断</p>	<p>大学で学ぶために必要な基礎学力</p>	<p>大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。</p>	<p>一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）</p>
		<p>個別試験において、高校で履修する数学、英語、物理、化学について、標準的な知識と理解、それに基づく論理的な思考力について記述式によって評価します。</p>	<p>一般入試（前期日程） 特別入試（帰国子女）</p>
		<p>調査書において、高校時代における学業成績、学習態度を評価します。</p>	<p>一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）</p>
		<p>小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。</p>	<p>特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）</p>
		<p>書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。</p>	<p>特別入試（帰国子女）</p>
<p>興味・関心・態度・意欲</p>	<p>医療従事者としての適性および明確な志望動機や入学後の意欲等</p>	<p>調査書において、高校時代における課外活動や志望学科での学習と関連する実績等を評価します。</p>	<p>一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）</p>
		<p>自己推薦書の内容について評価します。</p>	<p>一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ）</p>
		<p>推薦書において、推薦の理由を評価します。</p>	<p>特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）</p>
		<p>面接試験において、志望学科で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。</p>	<p>一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学） 特別入試（帰国子女）</p>

理工学部

【1】求める学生像

理工学部は、幅広い教養と科学・技術の専門的な素養を持ち、社会の広い分野で活躍できる人材を育成することを目的とします。各学科の目的と求める学生像は以下の通りです。

■数理科学科

数理科学科では、数学及び数理科学の領域において、広く社会で活躍できる高度な専門的知識・能力を持つ教育者、技術者、研究者となる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 数学および数理科学の分野の専門知識を修得し、論理的思考力、問題解決能力を身につけることを目指す人
- ② 数学および数理科学の分野で、専門的知識を社会に活用できる教育者、技術者を目指す人

〔数理科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

数学の概念や論理的厳密性を修得するためには、微分積分、線形代数、集合・位相といった数学の基本的な考え方や手法を身につけることが必要です。そのためには、高等学校で履修する数学の基礎的理解と応用力が不可欠です。さらに、自然科学の基本的な概念や原理・法則を理解して科学的な自然観を養っておくことは、学びの視野を広げることに繋がります。そのため、高等学校で学ぶ理科についても教科書レベルの知識を有していることが望まれます。一方、専門科目に限らず、大学では多くのレポートを書くことが一般的です。レポート作成には、文章の読解力と記述力さらには社会的な常識が必要となります。したがって、高等学校で学ぶ国語や社会の基礎的な学力は必要です。さらに、日本語文献だけでなく英語文献などもセミナー形式で学習しますので、英文の基礎的な読解力だけでなく、自分で辞書等を調べて英文を読みこなす習慣をつけておくことが必要です。

■物理科学科

物理科学科では、広範な自然現象を理解する試みを通して、現代の科学技術を支える学力と、柔軟性に富んだ豊かな発想力を培い、広い分野で活躍できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 理数系科目の学力に優れ、自然科学に対して強い興味を持つ人

〔物理科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

物理学における基本的な概念や法則を理解するためには、高等学校で履修する物理と数学の基本的事項の理解および計算能力だけでなく、それらの知識に基づく論理的な思考力が求められます。また、実験や観測を通して法則を見出すための洞察力も必要です。さらに、専門的な知識や考え方を修得するためには、海外の文献にも目を通すことが必要であり、高等学校の教科書レベルの英文読解力が求められます。一方、専門科目に限らず大学の講義や演習では、情報の収集、文献読解およびレポートの作成など、情報収集力や文書作成能力が求められるため、高等学校で学ぶ国語や社会の基本的な知識や考え方を修得しておくことが必要です。

■知能情報システム学科

知能情報システム学科では、情報科学及び情報工学の学問領域における専門知識・能力及び広い視野を持ち、知識基盤社会を担う人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 全般的な基礎学力を備え、特に数学、理科の学力を備えた人
- ② IT に対する興味と基礎知識がある人
- ③ ソフトウェア開発や情報システムの構築に取り組む意欲のある人

〔知能情報システム学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

知能情報システム学科では、IT の理論の専門基礎を重点的に教育します。そのため、高等学校で数学及び理科の基礎事項を理解し、教科書レベルの問題を解く能力を求めます。文書作成、口頭発表の能力を育成しますので、国語の学力が重要です。専門文献を読むため及び国際社会で活躍するための語学教育に必要な英語の学力も要求します。また、幅広い文化、自然、社会の素養を修得するために広範な基礎学力も必要です。本学科では、実験科目や卒業研究を通してグループの中での協調性、自主的学習能力、情報収集能力などを育成します。したがって、良識的に行動し、高い学習意欲を持ち、知識の獲得に積極的な学生の入学を望みます。

■機能物質化学科

機能物質化学科では、化学を通して継続的に社会に貢献することのできる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 日頃から身の回りにある物質・材料がどのような化合物からできていて、その機能はどのような原理に基づいているのかを興味を持って調べ、自らの手で新しい機能物質を創り出すことに意欲を持つ人
- ② 化学はもちろん生物・物理・数学など理数系科目が得意で、国語・社会・英語などの基礎学力を身に付けた人

〔機能物質化学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

化学は、物質の構造や機能の関係性を明らかにするために、様々な物質を詳細に調べ、新しい物質の合成や分解を行います。そのため、既存物質の特性を正確に把握し、必要な仮説と検証実験、そして得られた結果の論理的説明が求められます。このように化学を専門的に学ぶためには、高等学校で学習する化学の基本事項を十分に理解していることが必要です。また、実験等で取得したデータ解析には、計算能力や数学的思考力が求められ、物質の物理的性質や生物的性質を理解するためには物理学や生物学の知識が必要となります。したがって、高等学校で学習する数学、物理および生物の基礎学力は、化学を専門的に理解するためには欠かせないものです。さらに、新しい知識や技術を身につけるためには、外国の文献等にも目を通す必要があり、基礎的な英文読解力が求められます。一方、専門科目に限らず大学の講義や演習では、情報の収集、文献読解およびレポートの作成など、情報収集力や文書作成能力が求められるため、高等学校で学ぶ国語や社会の基本的な知識や考え方を修得しておくことが必要です。

■機械システム工学科

機械システム工学科では、機械工学及びその関連の領域において、専門的な基礎知識及びその応用力並びにもものづくりの素養を身に付けた技術者となる人材を育成します。

① 理数系の基礎学力とともに倫理観を持ち、「ものづくり」に興味のある人

〔機械システム工学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

機械工学は、すべてのものづくりに欠かせない技術であり、それを修得するためには、高等学校で学ぶ数学と物理および化学の基本的事項を理解し、教科書レベルの基本問題を解く能力を十分身につけておく必要があります。また、講義を理解して、レポートを作成したり、自分が調べたものを発表するためには、読解力や記述力を中心とする国語能力だけでなく、現代社会の仕組みや歴史、文化など高等学校の社会科で学ぶ一般的な知識も求められます。さらに、英文の読解や作成、外国人とのコミュニケーションなど様々な分野で将来的に活躍するためには、高等学校で学ぶ基礎的な英語力は欠かせないものです。そして、ものづくりを通じた社会への貢献に興味と熱意を持つことを期待します。

■電気電子工学科

電気電子工学科では、電気工学及び電子工学の領域における専門的知識・能力を持ち、社会で活躍できる人材を育成します。

① エレクトロニクスや情報通信関連のハードウェアやソフトウェアなどの「もの創り」への関心を持ち、あるいは世界的視野に立ったエネルギーや環境問題などにも興味を持った意欲ある人

- ② 高校時代においては数学、物理、化学などの理数系科目の基礎学力をしっかりと身につけた人

〔電気電子工学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

電気電子工学科に入学した学生は、日本の誇る大企業や九州の有力企業をはじめとする社会の第一線で活躍できるよう、電気電子工学に関連した様々な理数系専門科目を学びます。技術文書を正確に書く練習や、技術英語の修得も行います。そして、それらを駆使して社会に役立つものを創り出す研究活動も行います。そのため、入学時点で、数学、物理、化学などの理数系科目の基礎学力をしっかりと身につけていることが必要です。国語、英語、社会の基本的な知識を学んでいることも必要です。高校等での学習においては、教科書の範囲で解ける標準的な問題を、確実に解けるようにすることを望みます。社会で活躍できることを目指して育成しますので、もの創りへの関心や、エネルギーや環境問題等への興味が必要であり、男女を問わず意欲ある人の入学を望みます。

■都市工学科

都市工学科では、都市工学の領域における専門的知識・能力を持ち、社会で活躍できる人材を育成します。

- ① 私たちの暮らしを支える社会基盤や自然環境、建築デザインなどに興味のある人
- ② 専門教育に必要な基礎学力と勉学意欲を有している人
- ③ 自律的な学習を支える責任感、チャレンジ精神とやり遂げる強い意志を持つ人

〔都市工学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

都市における交通体系や水・エネルギー供給のライフライン、建築物等のさまざまな社会基盤・施設の整備と安全・安心の確保は非常に重要ですが、同時に自然環境や歴史、風土等との調和も必要です。都市工学科では、都市や地域に関する理解、形態や空間を扱うデザインも学問対象としていますので、様々な社会的事象および文化や歴史についても関心を持つことが求められます。したがって、都市工学科の志願者には、高校で学ぶ数学・物理など自然科学の基礎力、論理的思考を支える国語力、英語で書かれた文献の理解のための英語力、さらに地域の文化や歴史に目を向け得るための社会的な基礎知識などが求められます。

【2】入学者選抜の基本方針

理工学部の教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学希望者を選考します。

【前期日程】

大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、個別試験によって数学と理科、英語の基礎学力を評価します。

【後期日程】

大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、各学科の専門科目と特に関係の深い教科および科目について高い学力を有しているかを判断するために、個別試験によって各学科が指定する科目の学力を評価します。

特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」、「推薦入試Ⅱ」及び「帰国子女」の3つの入試区分により、入学希望者を選考します。

【推薦入試Ⅰ】

出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、調査書、小論文および口頭試問によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【推薦入試Ⅱ】

出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力、適性および明確な入学の意思を有しているかを判断するために、調査書と推薦書によって評価します。

【帰国子女】

出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、書類審査、小論文および口頭試問によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

理工学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法
知識・理解・思考・判断	大学で学ぶために必要な汎用的な学力	大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ）
		調査書において、高校時代における学業成績、学習態度を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（推薦入試Ⅱ）
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女）
		書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	特別入試（帰国子女）
	専門科目を学ぶために必要な基礎学力	大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ）
		個別試験において、高校で履修する数学、物理、化学および英語に関する標準的な知識と理解、数理的な解析力、それに基づく論理的思考と表現力について記述式によって評価します。	一般入試（前期日程）
		個別試験において、高校で履修する数学、物理および化学の中から1つの科目について、深い知識と理解および応用力、数理的な解析力、それに基づく論理的思考と表現力について記述式によって評価します。	一般入試（後期日程）
		口頭試問によって、志望学科で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女）
		調査書において、専門科目を理解できる基礎学力及び適性を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅱ）
興味・関心・態度・意欲	志望学科で学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲	調査書において、高校時代における課外活動や志望学科での学習と関連する実績等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		推薦書において、推薦の理由を参考にします。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		面接試験において、志望学科で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女）

農学部

【1】求める学生像

農学部は、農学及び関連する学問領域において、多様な社会的要請にこたえうる幅広い素養と実行力を身に付けた人材を育成することを目的とします。各学科の目的と求める学生像は以下の通りです。

■応用生物科学科

応用生物科学科では、生物の特性を理解し、生物の改良や活用を通して、社会に貢献できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 多様な動植物の生理生態的特性の解明、バイオテクノロジーを用いた有用生物資源の開発・利用、有用動植物を加害する病害虫の制御等についての理解と関心がある人
- ② 問題解決に向けて、粘り強く自己研鑽に努める熱意と実行力がある人
- ③ 本学科で学んだことを活かして社会で活躍したいという目的意識と向上心がある人

〔応用生物科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

生物に対する興味があり、生物の機能また生物が生育する環境について学習するための基礎学力として、高等学校で履修する理科や数学の基本事項を理解していることが必要です。また、講義を理解し、レポート等を作成・発表するためには、様々な文献を読み、文書を作成するという国語力が必要になるだけでなく、社会の仕組みや地理・歴史といった高等学校の教科書レベルの一般常識も求められます。さらに、専門的な知識や技術を得るためには、海外の文献にも目を通す必要があるため、高等学校の教科書レベルの英語の読解力が不可欠です。農学は、実験や調査活動を自主的にかつ継続的に行なうことが重要です。また、その課題はグローバルな問題が多くあります。従って、自然科学全般に対する知識欲と、勉強を続けるための目的意識を持つこと、さらに、教員、先輩、友人、留学生等とコミュニケーションがとれる積極性が必要です。

■生物環境科学科

生物環境科学科では、3つのコースにおいて次のような人材を育成します。生物環境保全学コースでは、地球上の環境や生態系を深く理解し、これらの保全、再生及び活用を通して、社会に貢献できる人材を育成します。資源循環生産学コースでは、生物科学及び生産情報科学の理論と技術を学び、環境に配慮した食糧生産と環境問題の解決に貢献できる人材を育成します。地域社会開発学コースでは、フィールドワークに基づく教育研究を通して、日本を含むアジア・太平洋諸地域における、持続可能な循環型地域社

会の構築に貢献できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 自然環境、社会環境及び生物生産環境の保全と修復に興味を持つ人
- ② 持続的な農業を可能にする新たな生物生産システム及び経済社会システムの創造に意欲がある人
- ③ 本学科で学んだことを活かして社会で活躍したいという目的意識と向上心がある人

〔生物環境科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

人間を含む生物やそれを取り巻く環境及び人間社会に対する興味があり、これらを総合的に学習するための基礎学力として、高等学校で履修する理科や数学の基本事項を理解していることが必要です。また、講義を理解し、レポート等を作成・発表するためには、様々な文献を読み、文書を作成するという国語力が必要になるだけでなく、社会の仕組みや地理・歴史、文化といった高等学校の教科書レベルの一般常識も求められます。さらに、専門的な知識や技術を得るためには、海外の文献にも目を通す必要があるため、高等学校の教科書レベルの英語の読解力が不可欠です。農学の課題にはグローバルな問題が多くあり、それを解決する糸口を得るため、実験や調査活動を自主的にかつ継続的に行なうことが重要です。従って、自然科学全般に対する知識欲と、勉強を続けるための目的意識を持つこと、さらに、教員、先輩、友人また留学生等とコミュニケーションがとれる積極性が望まれます。

■生命機能科学科

生命機能科学科では、科学的思考力を備え、生命科学技術の応用を通して、食と健康の分野において社会に貢献できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 生体における遺伝子の発現や物質代謝とそれらの調節機構を分子レベルで理解するライフサイエンス、食品の生体調節機能、栄養機能や安全性等に興味を持っている人
- ② 将来、本学科で学んだ知識や技術を社会で活かそうと考えている人

〔生命機能科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

生命現象に対する科学的興味があり、微生物から高等生物までの生命体が持つ機能について学習するための基礎学力として、高等学校で履修する理科や数学の基本事項を理解していることが必要です。また、講義を理解し、レポート等を作成・発表するためには、様々な文献を読み、文書を作成するという国語力が必要になるだけでなく、社会の仕組みや地理・歴史、文化といった高等学校の教科書レベルの一般常識も求められます。さらに、専門的な知識や技術を得るためには、海外の文献にも目を通す必要があるため、高等学校の教科書レベルの英語の読解力が不可欠です。農学は、実験や調査活動を自主

的にかつ継続的に行なうことが重要です。また、その課題はグローバルな問題が多くあります。従って、自然科学全般に対する知識欲と、勉強を続けるための目的意識を持つこと、さらに、教員、先輩、友人また留学生等とコミュニケーションがとれる積極性が必要です。

【2】入学者選抜の基本方針

農学部の教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学希望者を選考します。

【前期日程】

大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、個別試験によって、「数学」と「英語」の基礎学力を評価します。

【後期日程】

大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を深く理解するために必要な数理的な思考力・表現力に関する高い能力を有しているかを判断するために、個別試験によって、「数学」の基礎学力を評価します。

特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」と「帰国子女」の2つの入試区分により、入学希望者を選考します。

【推薦入試Ⅰ】

出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、書類審査（調査書、推薦書、作文等）、小論文および口頭試問によって評価します。また、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、口

頭試問と小論文によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【帰国子女】

出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、書類審査（成績証明書等）、小論文および口頭試問によって評価します。また、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問と小論文によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

農学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等		評価方法	入試方法
知識・理解・思考・判断	大学で学ぶために必要な汎用的な学力		大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）
			調査書において、高校時代における学業成績、学習態度を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
			小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女）
			書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	特別入試（帰国子女）
	専門科目を学ぶために必要な基礎学力		大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）
			個別試験において、高校で履修する「数学」について、標準的な知識と理解、数理的な解析力、それに基づく論理的思考と表現力を記述式によって評価します。また、「英語」では長文読解力、論理的思考力等を有しているかについて記述式によって評価します。	一般入試（前期日程）
			個別試験において、高校で履修する数学について、深い知識と理解および応用力、数理的な解析力、それに基づく論理的思考と表現力について記述式によって評価します。	一般入試（後期日程）
			小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女）
			口頭試問によって、志望学科で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女）
興味・関心・態度・意欲	志望学科で学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲	調査書において、高校時代における課外活動や志望学科での学習と関連する実績等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）	
		推薦書において、推薦の理由を参考にします。	特別入試（推薦入試Ⅰ）	
		面接試験において、志望学科で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女）	

Ⅱ 帰国子女特別入試

1 実施する学部、学科、募集人員

学 部	学 科	募集人員
医 学 部	医 学 科	若 干 人
理 工 学 部	数 理 科 学 科	各学科とも 若 干 人
	物 理 科 学 科	
	知能情報システム学科	
	機 能 物 質 化 学 科	
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	
	電 気 電 子 工 学 科	
	都 市 工 学 科	
農 学 部	応 用 生 物 科 学 科	各学科とも 若 干 人
	生 物 環 境 科 学 科	
	生 命 機 能 科 学 科	

(注) 募集人員の若干人は、一般入試後期日程の募集人員に含まれます。

2 出願資格

● 医学部

日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者であって、外国の学校教育を受けた者のうち、保護者とともに2年以上継続して外国に在留し、次のいずれかに該当する者としてします。

ただし、平成26年3月31日以前に帰国（一時的な短期の帰国を除きます。）した者及び保護者が帰国した後、本人が帰国するまでの期間が2年以上経過した者は、出願を認めません。

(1) 学校教育における12年の課程を平成26年4月1日から平成28年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者で、原則として、外国において最終学年を含め、2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者

ただし、外国に設置された学校等であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間には算入しません。

(2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレアの資格証書を平成26年又は平成27年に授与された者で、平成28年3月31日までに18歳に達する者

- (3) ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成 26 年又は平成 27 年に授与された者で、平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者
- (4) フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成 26 年又は平成 27 年に授与された者で、平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者

● 理工学部及び農学部

日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者であって、外国の学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 学校教育における 12 年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。）を外国又は日本において、平成 26 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者で、卒業（修了）時点から起算して過去 4 年間の内、外国において 2 年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者
ただし、外国に設置された学校等であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学して教育を受けた期間は、「2 年以上」という期間には算入しません。
- (2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレアの資格証書を平成 26 年又は平成 27 年に授与された者で、平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者
- (3) ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成 26 年又は平成 27 年に授与された者で、平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者
- (4) フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成 26 年又は平成 27 年に授与された者で、平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者

3 出願方法及び出願期間

平成 27 年 11 月 2 日(月)から 11 月 9 日(月) 17 時までには必着するように提出してください。郵送の場合は、角形 2 号の封筒に本学所定の封筒表紙を貼付したものを「速達書留」で送付してください。

[提出先]

〒840 - 8502 佐賀市本庄町 1 番地 佐賀大学学務部入試課

4 出願に必要な書類等

(1) 入学検定料 17,000 円	<p>本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。(次頁注意事項参照)</p> <p>なお、次頁注意事項の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は一切返還しません。</p>
(2) 検定料振込証明台紙	<p>上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C票 検定料振込証明書」を本学所定の台紙に貼り付けてください。</p>
(3) 入学志願票	<p>本学所定の入学志願票に必要事項を記入してください。</p>
(4) 写真票 受験票	<p>上半身脱帽正面向きで 3 か月以内に撮影したものを写真票及び受験票の所定欄に貼り付けてください。</p>
(5) 身上記録書	<p>本学所定の身上記録書に必要事項を記入してください。(理工学部については、最終出身学校の所見の記録があるもの)</p>
(6) 卒業(修了)証明書又は 卒業(修了)見込証明書	<p>最終卒業(修了)学校の証明書を提出してください。</p> <p>医学部については、卒業(修了)学校の沿革、概要及びカリキュラムを記載した学校要覧等を、可能であれば提出してください。</p>
(7) 在学期間証明書	<p>外国において、2年以上継続して学校教育を受けたことを証するものを提出してください。</p>
(8) 成績証明書	<p>最終卒業(修了)学校の証明書を提出してください。なお、日本の高等学校に在学したことがある場合は、当該高等学校長の作成した所定の調査書も併せて提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛び級や繰り上げ卒業等の事実があれば記載してください。 ・科目名、成績評価等が符号又は略字等により表示されている場合は、その説明書を添付してください。
(9) IB資格証書等	<p>国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を取得した者は、その資格証書の写しと国際バカロレア最終試験 6 科目の成績証明書を提出してください。</p>
(10) 一般的大学入学資格 証明書	<p>ドイツ連邦共和国において、一般的大学入学資格(アビトゥア資格)を取得した者は、その資格証明書の写しを提出してください。</p>
(11) バカロレア資格証書等	<p>フランス共和国において、バカロレア資格を取得した者は、その資格証書の写しとバカロレア資格試験成績証明書を提出してください。</p>

<p>(12) 国家試験等の統一試験 成績評価証明書</p>	<p>各国の教育制度による、次の国家試験等の統一試験を受験している者は、成績証明書を必ず提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Scholastic Aptitude Test (SAT) (アメリカ) • American College Testing-Examination (ACT) (アメリカ) • General Certificate of Education (GCE) (イギリス) • その他の国の成績評価証明書 <p>(なお、統一試験制度についての公式資料等を添付してください。)</p>
<p>(13) 在留資格を証明する 書類</p>	<p>○日本国籍を有しない者で、現に日本国内に在住しているときは、市区町村長の発行する「住民票の写し」(在留期間が記載されたもの)を提出してください。(「在留カード」の表裏両面の写しでも可)</p> <p>○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し(写真及び在留資格・期間の分かるページ)を提出してください。</p>
<p>(14) 帰国証明書等 (医学部志願者のみ)</p>	<p>入国管理事務所(法務省)発行のものを提出してください。この場合、入国査証の写(顔写真及び氏名等が記載された頁、出国及び帰国のスタンプが押印された頁)でも構いません。出願時に海外に在住する者は、日本国の在外公館発行の「海外在留証明書」を提出してください。</p>
<p>(15) 本人及び保護者の海外 在留証明書等(様式自由) (医学部志願者のみ)</p>	<p>在外公館又は保護者の所属する機関の長による「海外在留証明書」(滞在期間、在留地を明記したもの)を提出してください。</p>
<p>(16) 住所届</p>	<p>本学所定の住所届に必要事項を記入してください。</p>
<p>(17) 受験票送付用封筒 1 枚</p>	<p>受験票を送付しますので、長形 3 号の封筒の表面に受取人の住所、氏名、郵便番号を明記し、「受験票在中」と朱書きの上、392円分の切手を貼り付けてください。</p>

【注 意 事 項】

下記の場合は出願を受理しません。

- ① 検定料が振り込まれていない場合(「C票 検定料振込証明書」に出納印がない場合)
 - ② 振り込み済の「C票 検定料振込証明書」が、検定料振込証明台紙に貼り付けられていない場合
- ※出願書類を受理した後は、振り込み済の検定料は返還いたしません。

次の場合は、検定料の返還請求ができますので、必ず手続きしてください。

- ① 検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合
- ② 検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合
- ③ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

なお、返還請求の方法等については、学務部入試課(0952-28-8178)までお問い合わせください。

東日本大震災で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

1. 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、次に該当する者です。

(ア) 東日本大震災における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、次のいずれかに該当する者

- ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
- ② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

(イ) 居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者

2. 申請方法

事前に学務部入試課（0952-28-8178）に連絡し、該当すると判断された者は、所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。

3. 申請書類

(ア) 「入学検定料免除申請」（本学ホームページからダウンロード）

<http://www.sao.saga-u.ac.jp/PDF/menjo-appli.pdf>

(イ) 「り災証明書」（上記 1. (ア) の①に該当する者）

(ウ) 「死亡又は行方不明を証明する書類」（上記 1. (ア) の②に該当する者）

(エ) 「被災証明書」（上記 1. (イ) に該当する者）

5 入試方法

(1) 入試方法

出願書類に基づき、本学が行う小論文等及び面接の結果を総合して決定します。なお、医学部は大学入試センター試験を、理工学部及び農学部は大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。

(2) 採点評価基準

① 医学部

ア 学力検査の教科名・科目名等

数学 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B（注）

理科 物理基礎・物理，化学基礎・化学

外国語 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・
コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ

（注）数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Aは全範囲から出題します。数学Bは、「数列」，「ベクトル」を出題範囲とします。

イ 面接の採点・評価基準

医学部志望の動機，学習意欲，積極性，生命や医療に対する倫理観，チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通して評価し，将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかどうか総合的に判断します。

② 理工学部及び農学部

ア 小論文の採点・評価基準

出題されたテーマについて、解釈力、論理的思考力、表現力及び記述力等をみます。

イ 面接の採点・評価基準

必要な基礎知識、自己の目標、志望学科に対する意欲を問います。

(3) 合否判定基準

① 医学部

学力検査、面接、提出書類を総合して最終的な合格者を決定します。なお、面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。

② 理工学部及び農学部

書類(成績証明書等)、小論文及び面接等の結果を資料として判定の上、合格者を決定します。

6 試験日時、学力検査等及び試験場

学部	実施期日	実施内容		試験場
医学部	平成 28 年 2 月 25 日(木)	9:30~11:10	英語	医学部 (鍋島キャンパス)
		12:30~14:30	数学	
		15:30~17:00	理科	
	平成 28 年 2 月 26 日(金)	9:10~	面接	
理工学部	平成 27 年 11 月 27 日(金)	10:00~11:30	小論文	理工学部 (本庄キャンパス)
		12:30~	面接(口頭試問を含みます。)	
農学部		10:00~11:30	小論文	農学部 (本庄キャンパス)
		12:30~	面接(口頭試問を含みます。)	

7 事前相談を要するみなさんへ

本学において、受験上及び修学上の配慮を必要とされる志願者(障がい等を有するなど)は、出願にあたって、次により相談してください。

(1) 相談の時期

平成 27 年 10 月 2 日(金)まで

なお、相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、配慮を希望される措置が講じられない場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。

また、期限後に本学を志望することとなった場合及び不慮の事故等により障がい

を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

(2) 相談の方法

電話、郵便等にて、下記まで連絡ください。詳細については、その際に説明いたします。

[相談及び連絡先]

〒840-8502 佐賀市本庄町 1 番地 佐賀大学学務部入試課
(電話) 0952-28-8178

8 合格者の発表

(1) 合格者の発表は、本学「学務部入試課（佐賀市本庄町 1 番地）」前に合格者の受験番号を掲示するとともに、「日本国内の連絡先」あてに本学所定の合格通知書をもって通知します。なお、以下の合格者発表日時約 30 分後に本学ホームページ (<http://www.sao.saga-u.ac.jp/>) にも合格者受験番号を掲載します。

(2) 日時等

医学部	平成 28 年 3 月 6 日(日)	10 時
理工学部及び農学部	平成 27 年 12 月 7 日(月)	10 時

※ 電話による可否に関する問い合わせには一切応じません。

9 入学手続

(1) 入学手続期間

入学手続書類は、以下の手続期間最終日の 17 時までには必着するように発送してください。期間内に入学手続をしなかった者は、入学辞退者とします。

- 理工学部・農学部 平成 28 年 1 月 18 日(月)～1 月 21 日(木)
- 医学部医学科 平成 28 年 3 月 10 日(木)～3 月 15 日(火)

(2) 入学手続の内容

前記(1)の入学手続期間内において、次に掲げる関係書類の提出及び入学料の納入を完了してください。

① 入学手続関係書類

本学所定の誓約書及び学生カード

(合格者に対し、合格通知書と同時に郵送します。)

写真(2枚)

② 納入金

入学料：282,000 円(入学手続時に納入してください。)

授業料：267,900 円(前期・後期)[年額 535,800 円]

※この金額は、平成 27 年 4 月現在のものです。

(留意事項)

- ① 入学時又は在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定後の入学料及び授業料を納入していただくことになります。
なお、合格通知書送付の際、納入方法を含め、改めてお知らせします。
- ② 授業料（前期分）は入学手続き時に納入する必要はありません。納入期間は、平成28年4月5日(火)から5月31日(火)です。（入学後に付与される学籍番号が必要です。）
- ③ 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 入学手続き完了者で、特別な事情により平成28年3月31日(木)までに授業料を納入し、なおかつ平成28年3月31日(木)までに入学を辞退し、受理された場合には、納入した者の申し出により、納入済の授業料相当額を返還します。
- ⑤ 入学料の免除及び徴収猶予ならびに授業料の免除については、合格者に送付する関係書類を熟読の上、学生生活課に申し出てください。

10 不合格者の取扱い

帰国子女特別入試の不合格者で、本学の一般入試（前期日程 平成28年2月25日・26日、後期日程 平成28年3月12日・13日）に出願する場合は、「佐賀大学学生募集要項（一般入試）」に従って、改めて入学検定料を添え、出願してください。なお、医学部医学科については、試験日より前に後期日程へ出願することになりますので、注意してください。

この場合は、大学入試センター試験の受験者に限りますので、注意してください。

11 注意事項

- (1) 現在外国に在住している者は、日本における連絡者との間に十分な連絡体制をとっておいてください。
- (2) 受験者の宿泊斡旋は行いません。宿泊を必要とする場合は、次のところに照会すると便利です。なお、この他、宿泊斡旋を行うところもあります。
 - JTB コンベンションサポートセンター
〒810-0072 福岡市中央区長浜 1-1-35 新KBCビル6F
電話 092-751-2102
営業時間 月～金曜日の9:30～17:30（土日祝日は休み）
 - 日本旅行佐賀支店
〒840-0816 佐賀市駅南本町 3-7
電話 0952-24-2218
営業時間 月～金曜日の9:30～17:30（土日祝日は休み）
- (3) アパート・マンション等の紹介、教科書教材等の資料請求について

合格者へのアパート・マンション等の紹介は、佐賀大学生生活協同組合（以下、佐賀大学生協と略す）や周辺不動産業者が行っています。受験時に資料請求案内を配布しますが、早めの資料請求予約、問合せは以下までお願いします。教科書、教材等の案内も平成 28 年 3 月初旬に佐賀大学生協から送付致します。

●佐賀大学生生活協同組合

佐賀市本庄町 1 番地 佐賀大学キャンパス内

電話（代表）0952-25-4450

営業時間 月曜～金曜 10：00～17：00

<http://kyushu.seikyoku.ne.jp/scoop/>

12 受験にあたっての主な注意事項

(1) 受験者は、次により集合してください。なお、集合場所は受験票送付の際に併せて通知します。

●理工学部・農学部

平成 27 年 11 月 27 日(金) 9 時 30 分までに志願学部の指定した場所

●医学部

平成 28 年 2 月 25 日(木) 9 時までに医学部の指定した場所

平成 28 年 2 月 26 日(金) 後日送付される通知文で指定した場所

(2) 試験室では受験番号と机上の番号が一致するように着席し、受験票を机上の右上に置いてください。机中には、受験票、筆記用具、眼鏡及び時計（計時機能だけのもの。）以外のものは置かないでください。その他の荷物は監督者の指示に従い、机の下又は横に置いてください。

(3) 携帯電話等の電子機器類を持参した場合は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切ってかばん等に入れておいてください。

(4) 試験時間中、トイレを申し出たい者及び気分の悪くなった者等は、手を挙げて監督者の指示を受けてください。

(5) 受験票を忘れたとき又は紛失したときは、直ちに各学部受付場所に申し出て指示を受けてください。

(6) 弁当及び飲み物は、各自持参してください。

(7) 受験できなくなった場合は、試験日の前日までに学務部入試課まで連絡してください。

(8) 受験票は、合格者発表後の入学手続きの際に必要なので保管しておいてください。

(9) 試験開始後 30 分以上遅刻した者は入室できません。また、試験途中での退室は認めません。

(10) 面接では、受付入室から退室解散までの所要時間が多少長くなることもあるので、その心づもりでいてください。

13 入学志願票等の記入上の注意及び記入例

- (1) 志願票の記入に当たっては、募集要項を熟読の上、下記の「記入例」に従い記入してください。
- (2) 学科のコード番号を記入する欄は「電算処理コード表(29 ページ)」を参照し、正確に記入してください。
- (3) すべての書類の記入(手書きの場合)に当たっては、ボールペン(黒)を用い、文字及び数字(算用数字)はていねいに記入してください。パソコン等を用い、電子ファイルに入力したものを印刷して提出しても構いません。
- (4) ※印欄は、記入しないでください。

(記入例)

「氏名」の欄

フリガナ (カタカナ)	サ	カ	ヽ		マ	ナ	フ	ヽ				
漢字氏名	佐	賀				学						

- 氏名の欄は、左づめで記入してください。
- 常用漢字で記入してください。(JIS 漢字コードの第 1・第 2 水準以外の文字を含む場合、その文字が置き換えられることがあります。)

【置き換えられる文字の例】

高 → 高 崎 → 崎 桑 → 桑
 土 → 土 吉 → 吉 原 → 原

「性別」及び「生年月日」の欄

性別		生年月日							
男	女	昭 和	平 成	年	月	日			
1	2	S	H	0	9	0	8	2	3

- 性別欄は、該当する数字を○で囲んでください。
- 生年月日欄は、昭和・平成の該当するコード(S又は H)を○で囲み、生年月日は、1ケタの場合は右づめとし、前1コマに「0」を記入してください。
 なお、平成元年は、01 と記入してください。

「志望学部」及び「志望学科」の欄

志望学部			(医学部の例)		(理工学部の例)		(農学部の例)	
医学部	理工学部	農学部	志望学科		志望学科		志望学科	
5	3	4	医 学科		機械システム工 学科		応用生物科 学科	
			0	1	0	5	0	1

- 志望学部のコード番号の数字を○で囲んでください。
- 志望の学科名と、「電算処理コード表（29 ページ）」により、該当する学科の数字を 1 ケタずつ、正確に記入してください。

「出願資格」の欄

出身学校所在地及び出身学校名										出 願 資 格														
〇〇〇〇〇 〇〇〇 高等学校 学 校										高等学校卒業者（卒業見込みを含みます。）											高校以外			
										課 程			学 科							卒業見込み・卒業の別			外国 の 学 校 等	文 部 科 学 大 臣 の 指 定 し た 者
										全 日 制	定 時 制	通 信 制	普 通 科	理 数 科	農 業 科	工 業 科	商 業 科	総 合 学 科	1 ～ 6 以 外 の 学 科	卒 業 見 込 み	卒 業	卒 業 年		
高等学校 等コード	5	2	0	0	0	E	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	1	2			1	3		

- 高等学校卒業者（卒業見込みを含みます。）
 - 「出身学校所在地及び出身学校名」欄に所要事項を記入し、該当事項を○で囲んでください。
 - 「高等学校等コード」欄に「平成 28 年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験案内」の「高等学校等コード表」により、該当するものを記入してください。
 - 「高等学校卒業者（卒業見込みを含みます。）」欄の該当するコードを○で囲んでください。ただし、「卒業見込み」の者は、卒業年は記入しないでください。
 - 高等学校卒業者以外の者
 - 「出身学校所在地及び出身学校名」欄に所要事項を記入し、該当事項を○で囲んでください。
 - 「高等学校等コード」欄に「平成 28 年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験案内」の「高等学校等コード表」により、該当するコードを記入してください。
 - 「高等学校卒業者以外」欄の該当する事項の数字を○で囲んでください。
- ※「文部科学大臣の指定した者」とは、国際バカロレア資格を有する者で 18 歳に達した者、アビトゥア資格を有する者で 18 歳に達した者等のことをいいます。

「出願時における現住所及び連絡先等」の欄

・本学から出願書類等について連絡する場合がありますので、正確に書いてください。
なお、出願後、この欄に変更があった場合には直ちに電話により連絡するとともに、ハガキ等書面でもお知らせください。

[連絡先] 〒840-8502 佐賀市本庄町 1 番地 佐賀大学学務部入試課
(電話) 0952-28-8178

「日本における連絡者の氏名、連絡先（電話）及び住所」の欄

・志願者が外国に在住する場合、出願書類等について緊急に連絡を必要とする場合がありますので、志願者と十分に連絡体制がとれる者を記載してください。

「住所届」

・合格通知書は、これに記載された現住所に送付しますので、正確に書いてください。
なお、出願後、住所に変更があった場合には直ちに電話により連絡するとともに、ハガキ等書面でもお知らせください。

電算処理コード表

《学部コード》

学 部	コード
医 学 部	5
理 工 学 部	3
農 学 部	4

《学科コード》

学部	学 科	コード
医学部	医 学 科	01
理工学部	数 理 科 学 科	01
	物 理 科 学 科	02
	知能情報システム学科	03
	機 能 物 質 化 学 科	04
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	05
	電 気 電 子 工 学 科	06
	都 市 工 学 科	07
農学部	応 用 生 物 科 学 科	01
	生 物 環 境 科 学 科	02
	生 命 機 能 科 学 科	03

14 請求により本人に開示される個人情報

開示種類	平成28年度入学試験成績（簡易書留で郵送）
申請期間	平成28年5月2日(月)～平成28年5月31日(火)（必着）
受付時間	9:00～17:00（土曜，日曜，祝日を除きます。）
申請者	受験者本人に限ります。
申請方法	下記方法により，本学所定の申請書に必要事項を記入の上，申請してください。なお，電話及び代理人による申請は認めません。 1 直接来学（学務部入試課で受け付けます。） 2 郵送
申請書の取得	申請書は入試関係 web（ http://www.sao.saga-u.ac.jp/ ）から取得できます。 web から申請書を取得できない方は，本学あての封筒の表面に，「入試情報開示申請書請求」と朱書きし，返信用封筒（郵送先を明記し82円分の切手を貼付したもの。）を同封の上，学務部入試課に請求してください。申請書の請求は，代理人でも可能です。
申請に際し必要なもの	1 本学受験票 ・紛失の際は，写真入りの公的身分証明書等を持参してください。その際も受験番号は明確にする必要があります。なお，受験票は成績郵送の際にお返しします。 2 返信用封筒（長形3号の封筒に392円分の切手を貼ったもの） 3 印鑑（申請書に押印）
開示内容	当該年度のみ開示します。 ○入学試験成績（受験者本人へ簡易書留で郵送） ・小論文及び面接等を段階評価で開示 医学部は，合格者に総点を，不合格者に合格最低点との得点差をランク別に開示します。
開示手続期間	申請受付から発送まで，3週間程度かかりますので御了承ください。

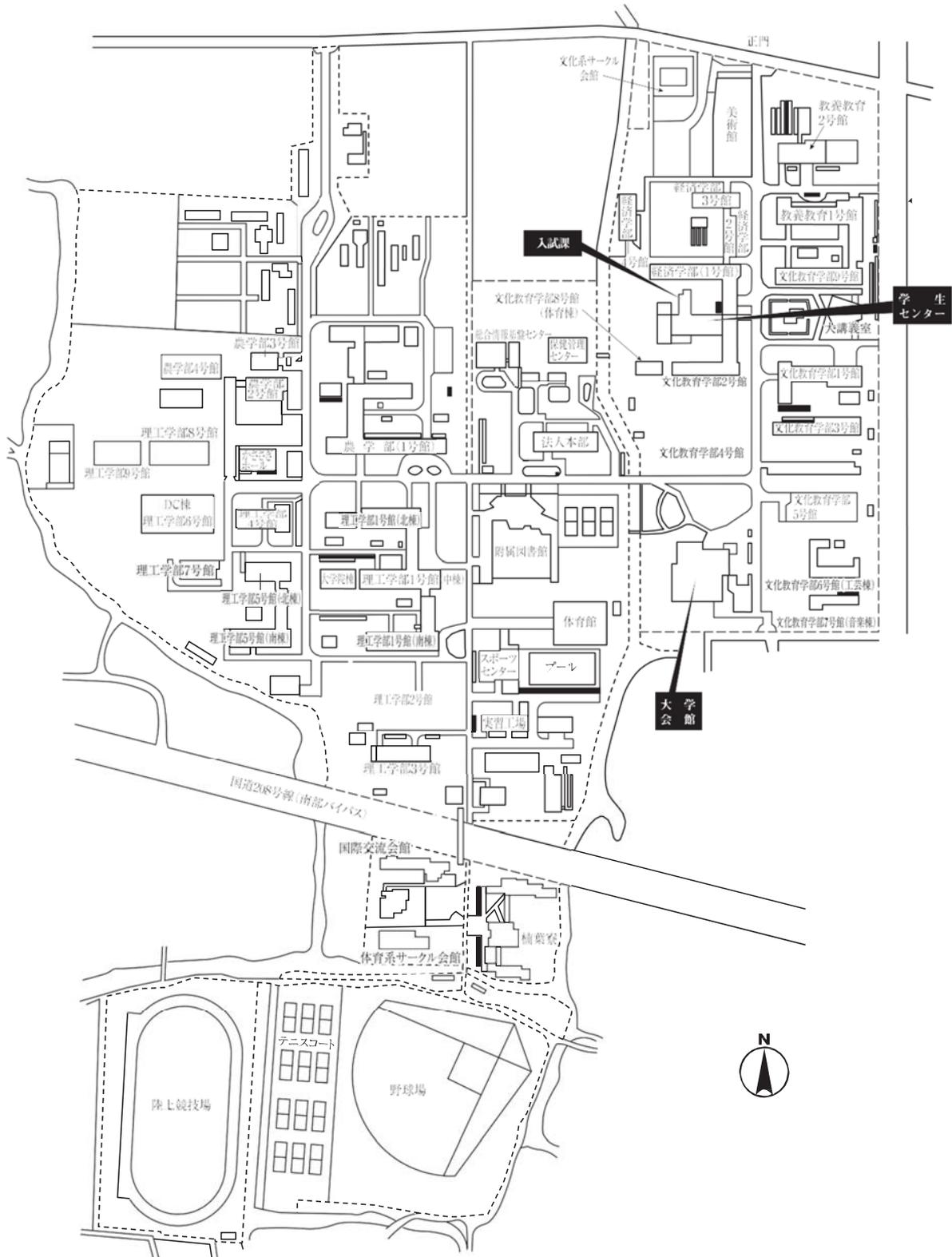
15 個人情報の取扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律の施行に伴い，入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については，入学者選抜に係る業務（統計処理などの付随する業務を含む。）以外に，教育目的等（入学料・授業料免除，（入学料徴収猶予）及び奨学金等を含む。）に利用します。

※本学が取得した個人情報は，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き，出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供する事はありません。

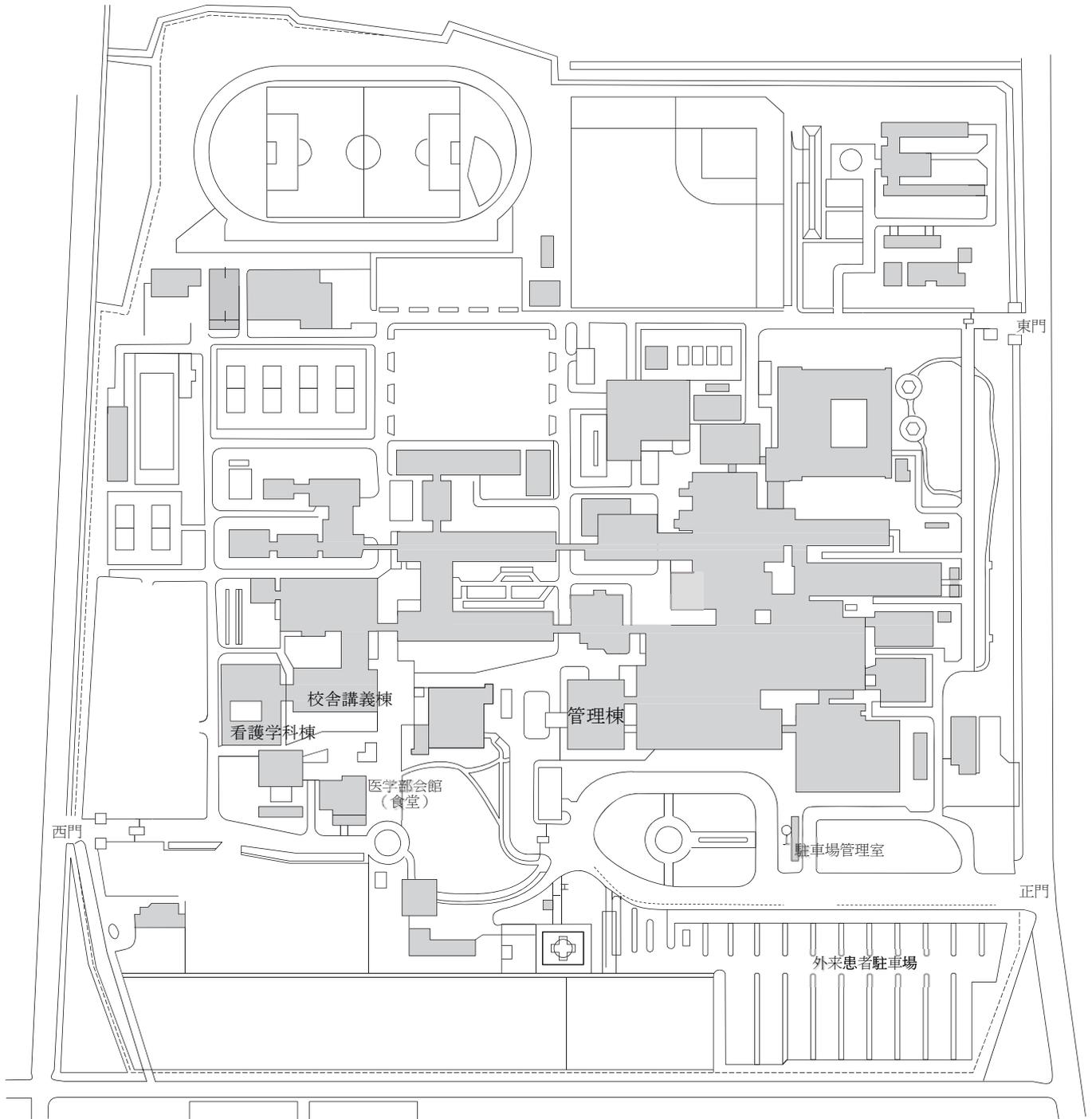
Ⅲ 共通事項「佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内」

佐賀大学（本庄キャンパス）配置図
 [文化教育学部，経済学部，理工学部，農学部]

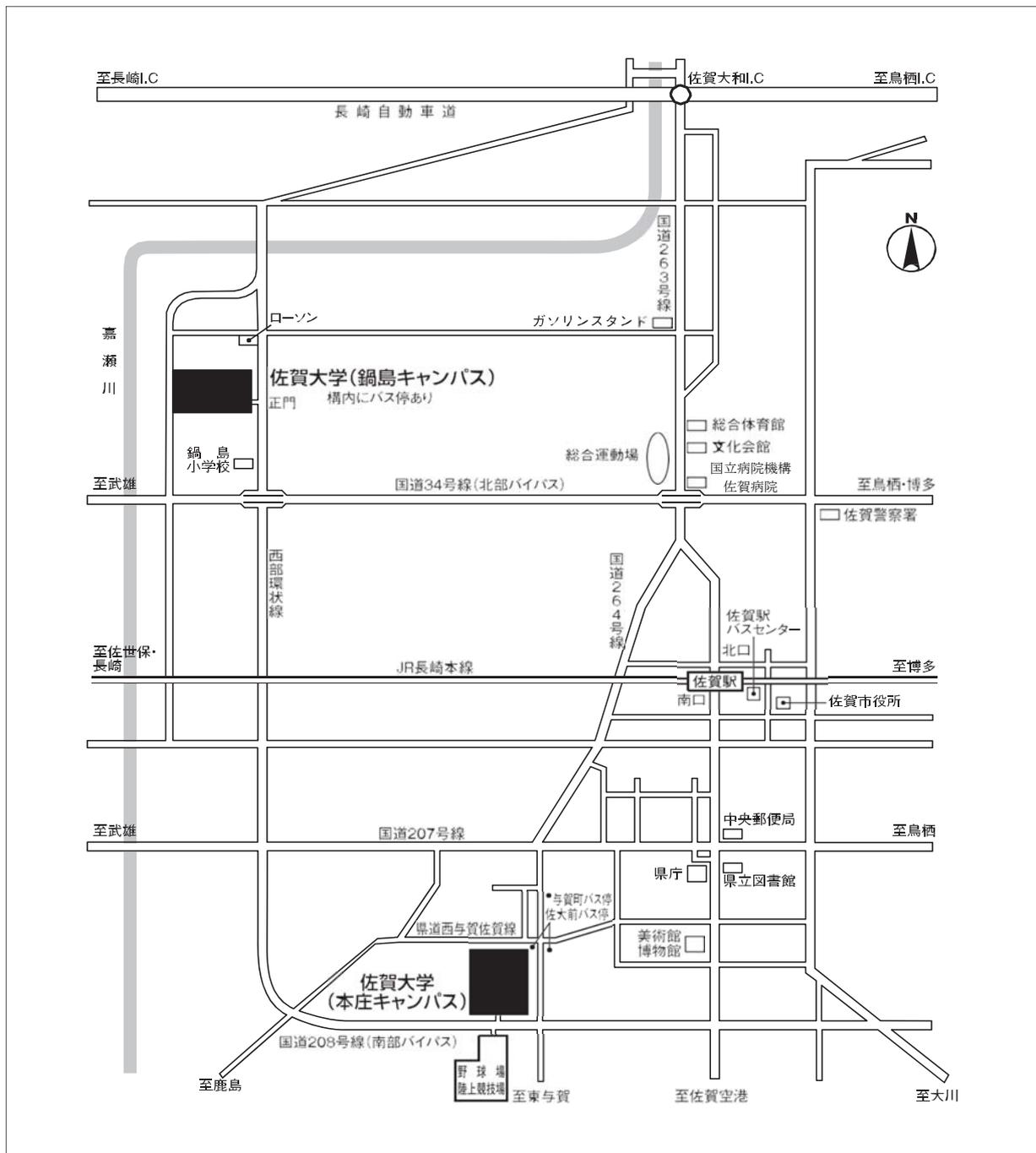


佐賀大学（鍋島キャンパス）配置図

[医 学 部]



佐賀市内略図



佐賀大学（本庄キャンパス）への交通機関案内

- (1) 佐賀駅バスセンター4番のりばから市営バス佐賀大学・西与賀線・11番，佐賀大学・東与賀線・12番，佐賀女子短大・高校線・63番で約15分，「佐賀大学前」下車
- (2) 佐賀駅からタクシーで約10分

佐賀大学（鍋島キャンパス）への交通機関案内

- (1) 佐賀駅バスセンター2番のりばから市営バス佐賀大学病院線（神野公園，鍋島小学校経由・50番）で約25分，終点「佐賀大学病院」下車
- (2) 佐賀駅からタクシーで約20分